

PRIMERGY RX300 S5 ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品に添付されておりますマニュアル類の内容に追加および訂正事項がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2009 年 7 月
富士通株式会社

1. 「PRIMERGY RX300 S5 ユーザーズガイド:B7FH-6031-01」への更新事項

SATAモデルについて

3.5 インチ SAS モデルの SAS ハードディスクユニットの代わりに SATA/BC-SATA ハードディスクユニットを搭載した SATA モデルを追加いたしました。ハードディスクユニット以外の仕様/機能に関しては 3.5 インチ SAS モデルと同様になります。ハードディスクの種類により、用途・運用条件が異なりますので以下を参照をお願いいたします。

本書をお読みになる前に(関連ページ 2)

追記

ハードディスクについて(SATA モデル)

本サーバの SATA モデルは SATA/BC-SATA のハードディスクをサポートしています。ハードディスクの種類により、用途・運用条件が異なりますのでご注意願います。各ハードディスクの用途・運用条件については、以下の URL をご参照ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/harddisk/>

2.6.2 使用できる内蔵ハードディスクユニットと留意事項 (関連ページ 56)

追加

● SATAモデル

品名	型名	備考
内蔵ハードディスクユニット -160GB	PG-HDF67C	160GB、7,200rpm、SATA、 ホットプラグ対応
内蔵ハードディスクユニット -500GB(BC-SATA)	PG-HDF57D	500GB、7,200rpm、 BC-SATA、ホットプラグ対応
内蔵ハードディスクユニット -1TB(BC-SATA)	PG-HDF17D	1TB、7,200rpm、BC-SATA、 ホットプラグ対応

2 章「2.7 内蔵バックアップ装置の取り付け」

3.7.3 「内蔵バックアップ装置の取り付け手順」(関連ページ 61～64)

追記

2.5 インチ SAS タイプで内蔵バックアップ装置を取り付ける場合は、ハードディスクを取り付けたまま作業を行ってください。(ディスクレスタイプではハードディスクを先に取り付けてから作業を行ってください)
もしハードディスクが無い状態で、オプションベイユニットフレームを取り外すと、SAS-BP (ハードディスクが接続されるプリント板) の上部の固定が外れることがあります。(図-1 参照)

・SAS-BP が外れてしまった場合

SAS-BP の切り込み(図-2 参照)をフック(図-3 参照)に差し込み右にスライドさせて固定してから、オプションベイユニットフレームを差し込んでください。

図-1 SAS-BP が外れた状態



図-2 切り込み

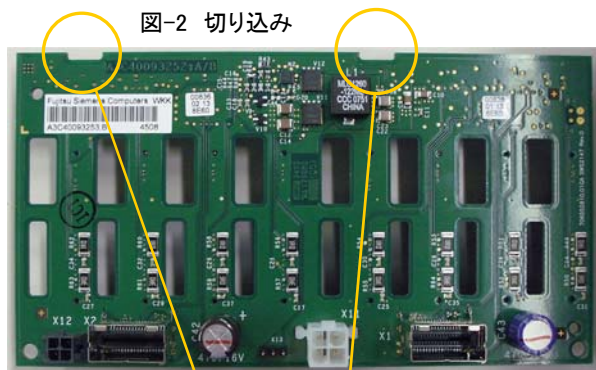
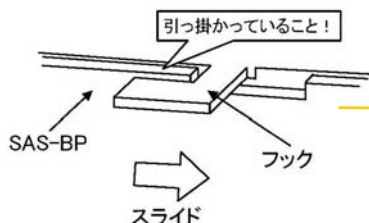
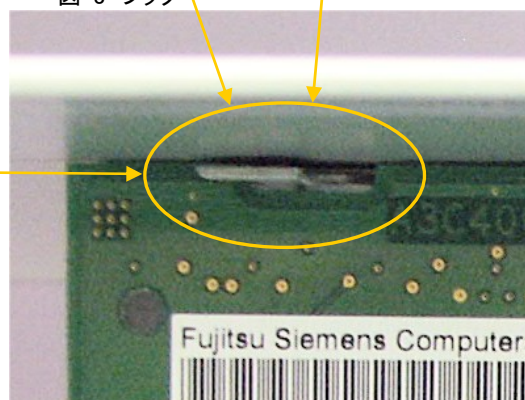


図-3 フック



SAS-BP をスライドさせフックに固定させる

3 章「3.2 BIOS セットアップユーティリティ」

3.2.6 「Advanced System Configuration サブメニュー」(関連ページ 86)

訂正

誤)

項目	設定値	説明
I/O AT	<ul style="list-style-type: none"> Disabled Enabled (ご購入時) 	ネットワーク制御に関する設定です。

正)

項目	設定値	説明
I/O AT	<ul style="list-style-type: none"> Disabled Enabled (ご購入時) 	Intel® QuickData に関する設定です。 本機能は本サーバでは未サポートです。

3.2.7 「Advanced Processor Options サブメニュー」(関連ページ 87)訂正
誤)

項目	設定値	説明
Turbo Boost Technology	<ul style="list-style-type: none"> •Disabled •Enabled (ご購入時) 	CPU の内部設定です。この項目は、CPU の種類によっては表示されません。

正)

項目	設定値	説明
Turbo Boost Technology	<ul style="list-style-type: none"> •Disabled (RHEL4 へ基本 OS 変換した場合) •Enabled (ご購入時) 	CPU の内部設定です。この項目は、CPU の種類によっては表示されません。 ご使用の OS が RHEL4 の場合、「Disabled」に設定する必要があります。

3.2.18 「IPMI サブメニュー」(関連ページ 100)訂正
誤)

項目	設定値	説明
Management LAN Port	<ul style="list-style-type: none"> •Management (ご購入時) •Shared 	リモートマネジメントコントローラポートとして、どの LAN ポートを使用するかの設定です。 <ul style="list-style-type: none"> •Management Management LAN ポートを使用します。 •Shared LAN ポート 1 を使用します。
DHCP	<ul style="list-style-type: none"> •Disabled •Enabled (ご購入時) 	リモートマネジメントコントローラ専用ポートの LAN IP アドレスを、DHCP サーバより取得するかどうかの設定です。「Disabled」に設定した場合は、IP アドレスの設定はできません。

正)

項目	設定値	説明
Management LAN Port	Management(変更禁止)	リモートマネジメントコントローラポートとして、どの LAN ポートを使用するかの設定です。
DHCP	<ul style="list-style-type: none"> •Disabled •Enabled (ご購入時) 	リモートマネジメントコントローラ専用ポートの LAN IP アドレスを、DHCP サーバより取得するかどうかの設定です。「Disabled」に設定した場合は、IP アドレスの設定が必要になります。

付録 「A 本体仕様」(関連ページ 162)

訂正

誤)

チップセット	Intel® 5500/ICH10R
--------	--------------------

正)

チップセット	Intel® 5520/ICH10R
--------	--------------------

追加

SATAタイプの本体仕様については以下に示す内蔵ハードディスクの項目を3.5インチSASタイプと読み替えて下さい。

		機能・仕様
		SATAタイプ
内蔵ハードディスクユニット	種類	160GB (SATA) 500GB (BC-SATA) 1TB (BC-SATA)
	ベイ数	6 ベイ
	最大容量	6TB (1TB × 6)
	インターフェース	SATA

付録「A 本体仕様 ■各型名における仕様」に以下が追加となります。(関連ページ 164)

追加

● 3.5 インチ SAS モデル

タイプ名称	型名	標準搭載 CPU	標準搭載メモリ	搭載ハードディスク(RAID 構成)
VMware vSphere 4 バンドルタイプ	PGR3052AX2	P8600 インテル ®Xeon®プロセッ サー E5502	2GB × 1	なし

● SATA モデル

タイプ名称	型名	標準搭載 CPU	標準搭載メモリ	搭載ハードディスク(RAID 構成)
ディスクレスタイプ	PGR3052BA	P8600 インテル ®Xeon®プロセッサー E5502	2GB × 1	なし
Windows Server 2008 Standard バン ドルタイプ/アレイ	PGR3052E3			160GB × 1 (RAID0)
Linux インストール代 行サービスバンドル タイプ/アレイ	PGR3052EL			

付録「B.1 CPUの仕様」(関連ページ 165)

訂正
誤)

L2 キャッシュ サイズ	4MB	4MB	8MB	8MB	8MB
-----------------	-----	-----	-----	-----	-----

正)

L3 キャッシュ サイズ	4MB	4MB	8MB	8MB	8MB
-----------------	-----	-----	-----	-----	-----

付録「B.3 内蔵ハードディスクユニットの仕様」(関連ページ 166)

追加

● SATA ハードディスク

項目	機能・仕様		
品名	内蔵ハードディスク ユニット-160GB	内蔵ハードディスク ユニット-500GB (BC-SATA)	内蔵ハードディスク ユニット-1TB (BC-SATA)
型名	PG-HDF67C	PG-HDF57D	PG-HDF17D
カテゴリ	SATA	BC-SATA	
インターフェース	SATA(Serial ATA)		
記憶容量[注 1]	160GB	500GB	1TB
最大データ転送速度	3Gbit/s		
平均回転待ち時間	4.2ms		
回転数	7,200rpm		
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 [注 2]	0.058(a 区分)	0.016(b 区分)	0.0080(c 区分)
外形寸法 (W×D×H)	101.9×147× 20(mm)	101.6×147×26.1(mm)	
質量[注 3]	380g	543g	677g

注1: 記憶容量は、フォーマット時、1GB=1000³ byte 換算です。

注2: 1Gbyte あたりの消費電力です。

注3: ホットプラグ用キャリアを含みません。

2. CPU Internal Errorにおける対処について

追記

CPU Internal Error (CPU IERR)が発生すると、下記の事象が発生します。

1) システム運用中、予期せぬシャットダウンが発生しシステムが再起動される。

2) システムシャットダウン時、電源切断されずシステムが再起動される。

システムイベントログ(*1)にて、CPU IERR が発生しているかどうかを確認してください。

CPU IERR が発生している場合は、以下の対処を実施してください。

1. BIOS/iRMC ファームウェアの更新情報(*2)がないかご確認ください。

稼働中のシステムより新しい修正モジュールがある場合は適用してください。

2. PCI カード(SAS アレイコントローラカード、SAS カード、SCSI カード、LAN カード等)の

ドライバ/ファームウェアの更新情報(*2)をご確認ください。

稼働中のシステムより新しい修正モジュールがある場合は適用してください。

3. 上記実施後も再度事象が発生する場合は、修理相談窓口までご連絡ください。

CPU IERR が発生しても故障ランプは点灯しません。また、本製品に添付されている ServerView のバージョンではポップアップによる画面通知は行われません。

CPU IERR をポップアップ通知するには、ServerView を更新する必要があります。ServerView の最新版につきましては、2009 年 6 月、以下の弊社ホームページに公開予定です。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

*1 システムイベントログの例

'CPU1': CPU internal error (IERR)

注) CPU 番号は異常が発生している CPU により異なります。

*2 最新のファームウェア/ドライバにつきましては、以下の弊社ホームページより入手できます。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

3. Linux OSのサポート版数について

追記

以下の Linux OS は、メモリー障害を CPU 障害と誤認する OS 障害を修正した OS 版数からのサポートとなります。

Linux OS に関する最新情報は、弊社ホームページ

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/>

内の Linux サポート版数一覧表を参照してください。

インストールに必要なドキュメント・ドライバは、PRIMERGY ダウンロード検索

<http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi>

より、該当する「インストールキット」をダウンロードしてご使用ください。

- ・ Red Hat Enterprise Linux AS/ES (v4 for EM64T)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)

4. FANの活性交換について

追記

サーバ本体に接続されているケーブルの状態によっては、サーバ本体がラックから引き出せないために活性交換できない場合があります。サーバ本体のケーブル接続については、「はじめにお読みください」を参照し余裕を持たせた配線を行ってください。

5. 「ソフトウェアガイド:B7FH-6091-01」への追記事項

2章「2.2.1 新規にインストールする場合」(関連ページ 23)

3章「3.3 リモートインストール」(関連ページ 55)

追記

ServerView Installation Manager V10.09.03 では、「PXE サーバを使ったリモートインストール」は行えません。クイックモードまたはガイドモードでのインストール、またはリモートリソースサーバを使ったインストールを行ってください

以上